

社会を変える事業＝SB

SB

ソーシャルビジネス

～～ ソーシャルビジネス(SB)とは ～～

ソーシャルビジネスとは、事業の中で「意義と意味のある稼ぎ方」をしながら、地域の社会的課題を解決していくという、共生的な事業のことです。

地域を巻き込みながら、新しい産業と雇用を創出していくことができます。

会則（抜粋）

（2010年1月20日設立）

（目的）

第3条 当会は、「ソーシャルビジネス」

（以下、SBという。）と呼ばれる、地域課題や社会的課題をビジネスの手法も取り入れて解決していく方法が、多様性のある豊かな地域づくりと地域産業の振興・雇用創出に重要であると考え、福島県のSBの普及推進を図り、SB事業者、支援組織、関係機関の連携協力体制を確立することを目的とする。

（活動の種類と事業）

第4条 当会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- （1）勉強会・交流会の開催
- （2）普及啓蒙のためのフォーラムの開催
- （3）SB事業者に対する支援
- （4）SB支援組織の連携と支援スキームの研究
- （5）ソーシャルビジネス推進イニシアティブ、東北ソーシャルビジネス推進協議会（T-SB）と連携した事業
- （6）その他、当会の目的達成のために必要なこと

■ 入会の方法

下記あてに、メールでご連絡ください。入会申込書をお送りします。

■福島県ソーシャルビジネス推進協議会（F-SB）

■運営委員長・丹治惣兵衛（福島大学特任教授）

■住所：〒963-8835 福島県郡山市小原田2-19-19

■e-mail：uketsuke@utsukushima-npo.jp

■事務局：NPO法人うつくしまNPOネットワーク

福島県ソーシャルビジネス推進協議会

<http://www.utsukushima-npo.jp/socialbusiness/>

挨拶

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から三年の歳月が経ちました。

「3.11」は、被災地・福島を襲い、人口減少や高齢化、地域経済の衰退を加速させています。

2014年3月11日からは、「ポスト3.11」の局面を迎えます。生活課題が切迫し、社会問題が先鋭化し、地場産業の衰退が加速していきます。

しかしながら、手を拱くだけでは、何も解決しません。人間としての矜持が許しません。東日本大震災と東電原発事故後、福島県内では、多くの創意工夫に満ちたソーシャルビジネス（SB）が立ち上がっています。

福島県ソーシャルビジネス推進協議会（F-SB）の設立目的は、SB事業者の支援を通して、SB事業発展の基盤を充実させることです。

SB事業の隆盛を通して、困難な局面が続く福島を復興・再生し、強いては、新しい日本を創出するために活動します。

SB勉強会



- 日時：2011年1月19日（土）15時から
- 場所：郡山市福祉センター3階 研修室
- テーマ：SB先進国・韓国に学ぶ～韓国の社会的企業育成法とは、何か～
- 講師：東日本国際大学経済情報学部経済情報学科准教授 山田紀浩 氏

東北復興ソーシャルビジネスフォーラム in 郡山
東北、そして福島の復興をSBの視点で考える
フォーラムの開催

- 日時：2013年11月19日（火）13時～17時
- 場所：郡山駅前ビックアイ7階大会議室
- テーマ：ソーシャルビジネスが、福島の復興・再生を牽引



- Twitter STREAMSTUDIO
NTTdocomo × NPO との
合同企画でフォーラム限定の
Twitter 情報発信

ハンズオン支援(SB事業のステージに応じたきめ細やかな支援)を提供

- ◎ SB事業者（起業予定者、すでに事業を始めている人含む。）の思い、企業（起業）理念、社会に対する考え方などをお聞きします。
- ◎ 事業計画、あるいは事業分析を一緒に行います。
- ◎ 市場調査、販売計画、商品開発、仕入れ、資金調達（助成金・融資・投資など）、総務・労務管理などについて、きめ細やかに専門的なアドバイスを行います。
- ◎ 技術力、デザイン力、IT（SM）力、広報力などを鍛錬します。